

共生するまちの 実現に向けて



義的には都の対応と考えているが、通学区の小平市、武蔵野市の対応も踏まえ研究したい。

②大災害時における対応と初動体制はどうなっているか。

鈴木成夫 (市議会民主派)

障がい児の移動支援の拡充を検討しないか。

学校教育部長 特別支援学級のスクールバスに乗車できる児童は原則1〜3年生。4年生以上でも自主登校が難しい場合は乗車できる。利用者は登校時17人、下校時14人。下校に利用しない児童は隣接の学童保育所に通っている。登校時は3台、下校時は2台のCO2バスを活用して3校の児童を送迎し、毎日授業終了時間に合わせ、状況により複数回送迎している。4年生以上の対応は利用者と相談している。都立小金井特別支援学校の建替期間中のスクールバスの要望は、保護者、市内事業者から内容を伺っている。第一

日本一の市の学童保育は 委託すべきでない



関根優司 (日本共産党)

小金井で日本一であるのは、雨水浸透ますと学童保育。学童保育が日本一の要因は三つ。①市内の小中学校に荒れた学校が一つもなく子どもたちが落ち着いて遊び勉強していること。②保護者の伝統的・歴史的な猛烈な活発な活動があること。③50年の歴史がある小金井の学童保育の経験を引き継いでいるベテラン指導員がいること。その中でも指導員が学童保育の日常生活の要である。委託を行うことにより、このベテラン指導員を、経験が浅く小金井の学童保育や小学校を知らず、しかもよくて月給十数万円、多くは月給十数万円あるかないかの劣悪な労働条件で働く不安定な人

続・学童保育業務の 見直しについて



白井 亨 (こがおも)

子育て新制度の動向や保育所の保育ニーズに鑑みると、近い将来に都型学童クラブ補助の要件である面積基準の1・65㎡を割ることも予想される。そうなれば希望者全入原則が守れない。そこで学校の空き教室の状況について聞きたい。

学校教育部長 少人数編成や

危機管理担当部長 現在災害対策本部設置は震度5強以上。消防団参集や学校対策本部設置は震度5弱以上。防災計画の修正を検討し、対策本部設置震度の変更を判断したい。最大被害想定では避難所生活者は約2万人。市民の皆さんが自助の考えに基づき、避難所に来ずに済む生活サイクルを呼び掛けている。

4月からの定員拡充で体制の見直しが必要になる児童発達支援センター「きらり」の通園部門の送迎バス



学童保育所で作った紙粘土の雪だるま



あかね学童の建替えでは臨時に学校施設を使用



「安全な小金井市」を守るために



も個人情報流出の防止措置を採っている。(イ)庁内関係各課で定期的に関係会議を開催するほか、必要に応じて警察とも連携していきたい。

湯沢綾子 (自民党小金井)

①ストーカー行為が基となる凶悪事件が報道されている。行政から被害者の個人情報漏洩するおそれ指摘されているところ、本市でも情報の管理を徹底しなければならぬ。(ア)ストーカー等の被害者が保護を申し出た際は、戸籍担当だけでなく、いずれの部署からも情報を外に出さない仕組みができてくるか。

②防犯・防災に強いまちにするために、地元企業との協力や、特に暗くなる地区で民家に夜間の門灯点灯を呼び掛けるなど、地域ぐるみでの取組が有効なのではないか。

都市計画道路3・4・8号線の 幅は凍結を



水上洋志 (日本共産党)

①地権者と地域住民が「税金25億円のムダ遣い(都市計画道路3・4・8号線幅)」に反対する会」を結成して、市長に事業凍結を求める要望署名に取り組んできたが、千筆を超える署名が提出されたことを踏まえて質問する。(ア)この道路は、他市の整備がほとんど行われておらず、市内の今後の計画もなく、全体の交通量が減少する中で必要性と緊急性はあるのか。(イ)地権者からも反対の声が上がり、署名が千筆を超えて集まるなど、住民合意が得られていないのではないか。(ウ)この道路に市の負担だけでも14億円をかける計画だが、市民生活や福祉のためにこそ使うべきではないか。

駅前ロータリーデザインの 考え方



斎藤康夫 (市民会議)

①武蔵小金井駅南口の駅前ロータリーには、必要な機能として「出入口の透明屋根」「バス停を連続する屋根」「一般車両の乗降スペース」がある。今後整備する予定の「東小金井駅北口」「武蔵小金井駅北口」にも同様な機能が必要になるが、どのような計画となっているか。

まちづくり担当部長 東小金井駅北口については、地権者を中心とした「まちづくり協議会」から、整備イメージが提言された。関係機関との協議は今後行う。

都市整備部長 武蔵小金井駅北口は中央線連続立体交差の復旧整備として東京都の事業で行うので、透明屋根、連続屋根、

②危険管理担当部長 コンビニエンスストアで女性等の駆け込みを保護する等、現在は企業の自主的な取組にとどまっている。

都市整備部長 (ア)広域なネットワークを構成する道路であるため、部分だけ捉えて必要性を言うことはできない。(イ)一定の理解を得ていると考える。

市長 (ウ)将来の市民のために整備していく。

②介護保険で、要支援者を介護給付から外し、市町村に移管することなどが検討されている。まさに改悪の内容であり、どう考えるか。

福祉保健部長 地域格差が広がるなどの懸念があり、国や都に意見を上げながら考えたい。

②競技場通りの南側延長の高架下に一般車両の乗降スペースを設置すべきである。

都市整備部長 交通管理者に確認したが、違法駐車を誘発するおそれがあるので難しい。

③その他「実現不可能の都市計画道路の計画変更」として、「実現不可能な路線を廃止して連雀通りの指定から外れている部分を指定すべき」と質問しました。